

## 富山国際大学の成績評価に基づく学修指導・支援について

### 1. GPA(Grade Point Average)の活用

本学では、学生の皆さんに対して大学生活における様々な学修指導・支援を行うために、単位認定及び成績評価における基準の「G P (Grade Point : 成績ポイント)」に基づき、次の算出式で出たG P Aを利用して指導・支援しています。

今後、学生の皆さんに配付される成績表に「評価」が示されますが、それに基づきゼミ担当教員や担当部署等から指導・支援がありますので、成績表を注視しておいてください。

#### 【G P Aの算出方法】

$$\frac{Sの修得単位数 \times 4.0 + Aの修得単位数 \times 3.0 + Bの修得単位数 \times 2.0 + Cの修得単位数 \times 1.0}{総履修登録単位数（「F・欠」の単位数を含む。）}$$

#### ■各学部共通 成績評価表

区 分	評 価 基 準	評 価	Grade Point
合 格 (単位修得)	100～90 点	S	4.0
	89～80 点	A	3.0
	79～70 点	B	2.0
	69～60 点	C	1.0
不 合 格	59 点以下	F	0.0
	試験欠席者 授業放棄者 受験無資格者	欠	0.0
認 定	単 位 認 定	P	—

※GPAは世界標準の成績評価であり、日本国内でも多くの大学が採用しています。

#### 【参考】

##### 富山国際大学成績評価基準〔全教科用〕

富山国際大学学則第27条に基づく成績評価基準は、次のとおりである。なお、下記に示す( )内の数字は、GP(グレード・ポイント)を示す。

100点～90点 ⇒ S(4点)

科目の到達目標を十分に達成しており、授業内容について深く理解していて、特に優秀な成績と認められる。

89点～80点 ⇒ A(3点)

科目の到達目標を達成しており、授業内容について理解していて、優秀な成績と認められる。

79点～70点 ⇒ B(2点)

科目の到達目標を概ね達成しており、授業内容について概ね理解していて、良好な成績と認められる。

69点～60点 ⇒ C(1点)

科目の到達目標を最低限達成しており、授業内容についてある程度理解していて、合格の最低基準を満たした成績と認められる。

59点～ 0点 ⇒ F(0点)

科目の到達目標を達成しておらず、授業内容について理解が不十分である。

### 2. GPAの具体的活用方法

#### (1) ゼミ担当教員からの学修指導

G P Aの満点は4.0です。4.0に近い数値であれば、学修意欲が高く優秀であると言えますが、極めて低い数値であると進級や卒業できない事態に陥りますので、そのような事態を避けるためにゼミ担当教員や担当部署等から様々な指導(アドバイス)があります。

#### (2) 学生表彰、奨学金・奨励金対象者などの選考・支援

本学の学生表彰、奨学金・奨励金制度においては、その選考において学業態度と成績評価(G P A含む)を勘案しています。したがって、学業態度・成績評価により制度要件を満た

さない学生については、奨学金等の給付が停止される場合があります。

### **(3) 「実習」履修にかかる指導**

学部によっては、成績評価において S 及び A の比率が一定の水準に達しない場合は、資格免許にかかわる学外実習の履修が許可されない場合がありますので注意してください。

### **(4) 退学勧告**

学習・学生生活に対する助言指導にもかかわらず修学意欲を示さない学生に対しては、進路変更の考察も促す目的で、退学の勧告を行うことがあります。

成績評価が決定した時点で、当該学期の GPA が 1.0 未満の場合は、担当教員による学生本人との面談（学修指導）が行われます。

#### ① 学期 GPA 1.0 未満が 1 回目の場合

ゼミ担当教員の面接・指導（保護者との面談を実施する場合あり）。

#### ② 学期 GPA 1.0 未満が 2 回目の場合

ゼミ担当教員の面接・指導及び保護者との面談を実施。

#### ③ 学期 GPA 1.0 未満が 3 回目の場合

学部長により退学勧告。

心身の健康上の理由から、やむを得ず GPA の数値基準を満たすことができなかった場合には、上記の回数から除外します。

ただし、大学における学生生活とは別の選択肢をとるかどうかの判断は、学生自らの判断に委ね、退学勧告による「退学」を強要・強制はしません。

なお、退学勧告後退学し、改めて修学する意欲が生じた場合には、再入学が認められる場合があります。

### **(5) GPAによるCAP制の変動**

1 学期（1 セメスター）に履修登録できる単位の上限を設けることを CAP 制と言いますが、本学は各学部で定めている「履修に関する規程」で、原則として上限が 22 単位と定められています。これは学生の皆さんが、科目等の学修が中途半端になることのないよう十分な学修時間が確保できるようにするために設けられているものです。

この上限はあくまで標準ですが、成績評価の善し悪し、GPA 数値によって履修可能単位数が変動します。これは成績優秀者においてはさらに学びを深め将来の人生に役立ててもらいたい、また成績不振者においては学んできたことをもっとじっくりと学び直す時間を持ってもらいたい等の目的のもとで制度化されているものです。

特に成績優秀者においては、前述の「(2) 学生表彰、奨学金・奨励金対象者などの選考・支援」にも直結する重要なものです。

具体的には、履修した学期の成績評価に基づく GPA 数値によって、翌学期に履修できる単位数が次表のようになりますので、是非活用してください。

前学期の GPA	翌学期の履修可能単位数
3.2 以上	26 単位
3.2 未満（標準）	22 単位

※特に GPA 1.0 未満の学生は、ゼミ担当教員から指導があります。

### **3. その他**

本学では、原則として「履修登録した科目」に基づき GPA を計算します。したがって、安易に履修を放棄することのないようにしなければなりません。誤って履修した場合、所定の変更期間内に履修中止の手続きを行う必要がありますので注意してください。

なお、学部によって取得を希望する資格を変更した場合、速やかに当該科目の取消手続きをしてください。